

令和7年度 事業報告書 左京西部いきいき市民活動センター

【指定管理者：特定非営利活動法人劇研】

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）

【人材育成の取組】

- ・非常勤職員にも、積極的に事業の立案、実施に関わってもらうことで、センターを活用したまちづくりに貢献できる人材育成をしている。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
345	353	319	324	342	405	407	396	325	306	383	354

(年間)

4259 件（前年度比 109%）

イ 利用状況

- 利用料金制度への移行後 4 年目でようやく利用件数、利用時間が増加に転じた。前年度と比べ件数で 340 件、時間ベースで 583 時間の増加となった。全体の利用率は 51.7%だった。（前年度 48.5%）

令和 7 年度利用団体 430 団体の内訳は文化芸術系団体の利用が約 60%、次いでスポーツ系団体、健康系団体の利用がそれぞれ約 10%となっており、2023 年度から大きな変化はない。変化が見られたのは、こども会や子育てなどの団体で、約 8%（前年度約 4%）となった。営利目的でない事業者の利用は 7 件 24 時間だった。

- 課題や改善が見られた部分があれば記載してください。

ウ 利用促進に向けた取組

- 故障していた会議室 1 のエアコンを 6 月に入れ替え、支障なく部屋の貸し出しができた。
- 利用者の利便性向上のため、2024 年度から本格的に導入した当日利用の電話予約は年間 259 件 498 時間の利用があった。（前年度 220 件 485 時間）

エ その他

- サロンの自由利用者数は、のべ 812 名で、前年度比 147%（前年度利用者数のべ 552 名）となった。法事が 2 件、地域活動利用が 38 件だった。廃材アート、フリーガーデンなど、センターの事業を 59 件実施し、センターの認知度向上と地域活性化に取り組んだ。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- ○ センターのホームページのほか、Twitter、Facebook での情報発信を行っている。令和 7 年度から実施した事業の様子を note にあげ、活動を見やすくした。
- 利用者紹介コーナーの設置、サロンでの地域に係る展示や、かもがわデルタフェスティバルを使った、利用者の成果発表など利用者や地域の魅力を発信する機会を作っている。

イ 取組の効果

- 事業に興味をもたれたボランティアが増えた。提案事業から自身で助成金をとり、有料でセンターの施設を使用する団体も出てきた。

(4) 管理運営

- 廃材を利用した棚やテーブルを共有スペース（ロビー）に設置し、美しく居心地のいい空間づくりを心がけている。

(5) その他

- 利用者への積極的な声掛けや、地域の取り組みへの積極的な参加を行っている。
特に養正市営住宅は再開発に着手しており、今後どんな地域にしていきたいかという課題を地域住民とともに話す場として、サロンを使ってもらうなど、地域の発展に貢献できるよう努めている。
また、地域内の小中学校とも連携し、事業を行っている。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】多文化交流事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和8年9月6日（金）／令和8年14月（日）
- 2 開催場所：養正児童公園／左京西部いきいき市民活動センター 会議室3
- 3 参加人数：来場者約1,000名
- 4 協力団体等：かもがわデルタフェスティバル実行委員会／カポエイラ・アンゴラ インジンガ京都／養正小学校／高野中学校／田中村六斎念仏保存会
- 5 予算：1,160,000円／決算：1,157,020円

1 事業内容

- 当センターも実行委員として参加している「かもがわデルタフェスティバル」の関連企画として、「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」の協力を得て、カポエイラやブラジルの伝統人形劇などの紹介を行い、同じ舞台で「高野中学校吹奏楽部」の演奏や「田中村六斎念仏保存会」の六斎念仏踊りの発表を組み合わせることで、地域の方と海外にルーツを持つ方との交流の場をつくった。また、ステージでの発表に加え、地域に住む海外にルーツを持つ方たちとのトークショー「多文化共生トーク」を行った。
- ステージだけでなく、トークイベントを実施することで直接的な交流の場を作った。

2 準備段階での工夫

- 当センター利用団体である「カポエイラ・アンゴラ グループ インジンガ 京都」「ようせいこども会」「田中村六斎念仏保存会」「養正小学校」「高野中学校」のご協力をいただき、実施した。
- 地域の複数の団体で構成された「かもがわデルタフェスティバル実行委員会」（当センターも参加している）の協力のもと、広報活動、準備活動を実施し、スムーズな運営ができた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 1,000名程度の参加者を目標とした。
地域の方々と特に外国籍の左京西部いきいき市民活動センター利用者との交流の場を作り、文化紹介を行い相互理解を深めるという効果が見込まれた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は100%。
- 「それぞれのお国自慢や、日本に住んで感じたことなどが聞けて良かった」「多文化ステージが本当に多文化で面白かった」などの意見がきかれた。

4 今後の抱負

- パフォーマンスだけでなく、海外にルーツを持つ方々を交えたトーク、シンポジウムのようなものが開催できたので、トークに関しても継続、発展させたい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】廃材アートワークショップ（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：令和 8 年 4 月 19 日より毎月第 3 土曜日 10 時～13 時、計 12 回
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約 50 名、計のべ約 600 名
- 4 協力団体等：スタジオぐるり
- 5 予算：680,000 円／決算：681,079 円

1 事業内容

○水野哲雄京都芸術大学名誉教授が主催するスタジオぐるりと協力して、高齢者や親子が参加できる廃材を使ったアート作品創作ワークショップを毎月第 3 土曜日に行った。また、9 月 15 日と 2 月～3 月に作品の展示会を実施した。

2 準備段階での工夫

- 使用する材料の調達、ワークショップの進行、展示など「スタジオぐるり」の協力を得て実行した。
- SNS を使った広報と口コミによる周知。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回約 50 名、年間 600 名の参加を目標とし、アート作品制作を通じて環境問題や SDG s の取り組みに対する理解を深める効果が見込まれた。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は 100%。
- ワークショップ、展示を通じて環境問題、SDGs に対する関心を喚起し、理解を深めることができた。

4 今後の抱負

- 遊びながら環境問題、ごみ問題についての理解を深められるこの企画は好評で、引き続き実施していこうと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ベビー&キッズ用品交換会（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月19日より毎月第3土曜日10時～13時、計12回。
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約50名、計のべ約600名
- 4 協力団体等：AT-Kyoto
- 5 予算：660,000円／決算：659,596円

1 事業内容

- 主に子育て世代を対象とした、リユース交換会を行っている任意団体 AT-Kyoto と協力し、子育てに必要なもの、すでに不要になったものの交換会を毎月1回、計12回行った。また、企画の周知や、開催日に参加できないひとのために、左京西部いきいき市民活動センター入口に交換会で残ったものを並べる棚を拡充した。

2 準備段階での工夫

- 会場設営など AT-Kyoto の協力を得て実施した。
- SNS を使った広報。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回25組の親子50名×12回のべ600人を目標とした。
子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDGsへの関心や意識向上を目標とした。

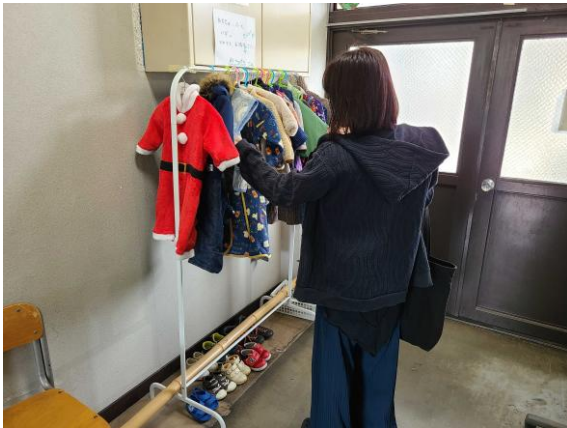
（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数の達成度は100%。
- 子育て世代の交流促進と共に、「捨てる」から「交換する」へ、SDGsへの関心や意識向上に寄与することができた。

4 今後の抱負

- 大変好評な事業であり、子育て支援、ふれあいサロンの活動という観点からも事業を継続していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】まちづくりサポーター育成事業（市民活動支援・活性化事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R7年4月21日より毎月第3日曜日の10時～12時（計12回）
かもがわデルタフェスティバル9月14日・防災イベント2月8日
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：ボランティア参加者18名。
- 4 協力団体等：ようせいこども会／かもがわデルタフェスティバル実行委員会／養正学区
自主防災会／養正学区まちづくり協議会設立準備会
- 5 予算：770,000円／決算：769,265円

1 事業内容

- 月1回のペースで当センター周辺の事情や、地域の市民活動活性化のための研修、ディスカッションを行い、「かもがわデルタフェスティバル」や「ようせいアートむら」でボランティア活動をした。また、地域の自主防災会、養正学区まちづくり協議会設立準備会と連携し、「ふれあい防災イベント・自宅避難時に役立つ調理教室」を実施した。

2 準備段階での工夫

- ようせいこども会、かもがわデルタフェスティバル実行委員会、養正学区自主防災会、養正学区まちづくり協議会設立準備会のご協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回10名の参加者を目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 大学生含むボランティア8名、小学生のボランティア17名が参加した。
- 「ようせいアートむら」では「みんなで工作して企画をするのが初めてで、やったことがないことに挑戦できた」、「防災イベント」では、「こういうイベントで、若い人たちにも防災について広めていきたい」などの声が聴かれた。

4 今後の抱負

- 地域の小中学校や自主防災会とつながり、地域の課題を一緒に楽しみながら解決していける企画を実施していくことで、参加者を増やし、地域力向上に寄与していきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】サロン活性化サークル育成事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R6年4月25日(木)より毎月第4木曜日の11時～15時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：各回約15名程度
- 4 協力団体等：京都学生演劇祭実行委員会／かもがわデルタフェスティバル実行委員会／
ようせいこども会／東山青少年活動センター
- 5 予算：860,000円／決算：858,064円

1 事業内容

- ようせいこども会と協力し、小中学生対象のWS「ようせいアートむら」を実施した。
「ようせいアートむら」ではダンスや怪談作り、演劇のWSを行い、サロンでお化け屋敷や、演劇作品の上演を実施した。
また、東山青少年活動センターと協力して障害を持った中高生を対象とした居場所づくり事業「Co.Co.ひろば」を実施した。
「バケツ田んぼ」や「フリーガーデン」「みんなの本棚」を継続し、ふれあいサロンの魅力を高める活動をした。

2 準備段階での工夫

- 京都学生演劇祭実行委員会、かもがわデルタフェスティバル実行委員会、ようせいこども会、東山青少年活動センターの協力を得て事業を実施した。
- SNSを使った広報。他の提案事業との協働。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 各回5～10名の参加を目標とした。ふれあいサロンを訪れる人を増やし、地域の活性化を促すことを目標とした。

（2）事業実施による目標の達成度

- 各回10～15名の参加があり、目標を上回った。
- 「劇を作るのが楽しかった」「初めて焼き芋をした」「わたしも来年は何か野菜を育てたい」などの声がきかれた。

4 今後の抱負

- 「立ち寄りやすいサロン」「なにか面白いことをやっているサロン」を目指し、更なる工夫をこらした事業を展開したい。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】地域に係わる展示事業（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：『出町柳今昔写真展』：年間通し／
『いきセンの思い出』展示会：R8年2月20日(金)～2月28日(土)
- 2 開催場所：ふれあいサロン／左京西部いきいき市民活動センターロビー
- 3 参加人数：来場者約300名
- 4 協力団体等：大谷大学地域連携プロジェクト「聞き取りを通じた共生社会推進プロジェクト」／左京東部いきいき市民活動センター
- 5 予算：260,000円／決算：258,194円

1 事業内容

- ふれあいサロン和室に『出町柳今昔写真展』と銘打って地域の古い写真を常時展示した。また、大谷大学、左京東部いきいき市民活動センターと協力し、『いきセンの思い出』と題し、地域の方々にインタビューしたものをパネルにして展示した。

2 準備段階での工夫

- 大谷大学地域連携プロジェクト「聞き取りを通じた共生社会推進プロジェクト」、左京東部いきいき市民活動センターのご協力をいただき、実施した。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 100名の来場を目標とした。
地域の歴史や特色を知ることによって古くからの住民と最近引っ越してきた住民との交流を促進し、外部に発信することで、地域の魅力を地域外の人に知ってもらうことを目標とした。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 展示期間中の来場者は約300名で目標を上回ることができた。
- 「話しているうちに子供のころのことを思い出せた」「自分が今やってる活動の基みたいなことを再確認出来てよかった」などの意見が聴かれた。

4 今後の抱負

- 再開発で地域の景色が変わっていく中で、地域の歴史を保存し、声を残していく取り組みは継続したいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

【事業名】ふれあい食事会（サロン運営・活用事業）

事業の概要

- 1 開催日時：R7年4月26日(木)より毎月第4木曜日の12時～15時（計12回）
- 2 開催場所：ふれあいサロン
- 3 参加人数：のべ140名
- 4 協力団体等：モンパン食堂 京都 Tera.Coya 京都市立養正浴場 ようせいの家
- 5 予算：360,000円／決算：352,750円

1 事業内容

- 誰もが参加できる「ふれあい食事会」を毎月第4木曜日、年計12回開催した。R8年1月から食事会だけでなく、参加者自身が食べ物を作るワークショップも開催した。

2 準備段階での工夫

- モンパン食堂、京都 Tera.Coya、京都市立養正浴場、ようせいの家のご協力をいただき、実施した。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- のべ120名程度の参加者を目標とした。
「ふれあい食事会」を介した多世代交流がを促し、高齢者だけでなく、幅広い年齢層の居場所づくりを促進することを目指した。

（2）事業実施による目標の達成度

- 参加人数はのべ約140名で、目標を上回った。
- 参加する高齢者の方々も配膳やワークショップになどに協力してくれるようになり、喜んでいただいている。

4 今後の抱負

- 食事会を単に無料で食事ができる場所と捉えた湖底の参加者が出てきたため、令和8年1月から食事会+ワークショップとした。単に食事を共にするだけでなく、「交流の場」であることを強く打ち出した。今後は各地の郷土料理なども取り入れ、食文化研究会として、食事を通じた多文化交流の場にもしていきたいと考えている。

事業風景の写真



※ パンフレットや事業周知チラシなどを添付しても構いませんが、1事業につき1～2枚程度としてください。

3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和7年度実績：4,967,400 円（前年度比 105.3%）

（内訳 会議室等：4,901,000 円
付属設備：66,400 円 ※自主事業分を除く）

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

（1）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和7年11月実施

【調査項目】窓口サービス

（2）センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

（1）全センター共通窓口サービス

満足	普通	不満	無回答	総数
82.5%	17.3%	0.2%	0%	103

（2）センター独自アンケート

○概ね満足との回答を得た。

3 意見等への主な対応状況

○ 丁寧な対応を評価されていたので、全職員に一層の対応、清掃を心がけるよう伝えた。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

実施した提案事業は概ね好評なので改良しながら継続していきたい。

左京東部いきいき市民活動センターが除却になった影響で左京西部の利用が増加していると思われる。

- 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

左京西部と左京東部は距離的にも近く、お互いの職員が融通しあうことができたが、今後は難しいため、新たな職員の募集、育成が急務と考える。

- 次年度に向けた対応について記載してください。

引き続き利用者の利便性向上と、地域の活性化を促し、利用率上昇につなげたい。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

- 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

特になし

【締め切り】

5月22日（金）までに地域自治推進室へデータ1部＋紙18部提出

※ 収支決算書は、5月15日（金）までに提出してください。